

# 6 フロア配線用製品

ビルのフロア配線つまり横系の配線は、近年のオフィス内の高度情報化傾向に伴い、急激にその種類や容量が増加しています。また、オフィス内のアメニティを求める傾向が高まり、タイルカーペットやOAフロアの採用が増加する中で使用される配線のフレキシビリティが要求されています。

中でもアンダーカーペット配線とOAフロア配線は露出配線をなくするという意味でアメニティ重視の製品であり今後の伸びが期待されます。また、情報通信系の配線の統合化の気運が高まっており、レイアウトの変更や負荷の増移設に対応が容易なIBCS/ZWS注目されています。

フロア配線用製品		<b>0.4-□FF(H)</b>
<b>FFケーブル</b> <b>(電話用アンダーカーペットケーブル)</b>		
定格：－	規格：日立標準 (SP50-9627)	

### 特長

1. 厚さ1.5mmの超薄形ケーブルで、カーペットの下に配線でき、隠ぺい性に優れています。
2. テープのミシン目を裂くことで、任意に対に分離できます。
3. 絶縁体の色別はフルカラーコードであり、線番の識別が容易です。



### 識別

下記参照

### 用途

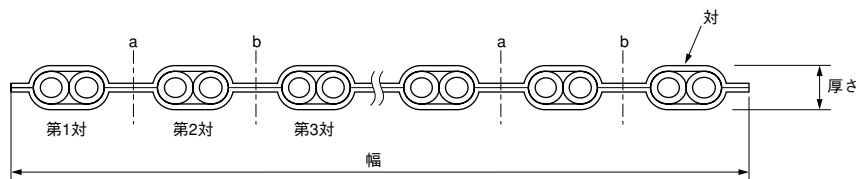
カーペットの下に布設します。  
 構内電話用，電子ボタン電話用。

### 仕様

ケーブル種類	导体径 (mm)	ケーブル寸法		概算質量 (kg/km)	导体抵抗 (20℃) (Ω/km)	絶縁抵抗 (MΩ·km)	絶縁耐力 (V/1分間) 又は DC500	静電容量 (nF/km)	近端漏話 減衰量 80kHz (dB/200m)	参考値	
		厚さ (mm)	幅 (mm)							特性インピーダンス 1MHz (Ω)	減衰量 1MHz (dB/100m)
0.4-2FF(H)	0.4	1.5	10	12	146.2以下	5,000以上	AC350 又は DC500	平均80以下	50以上	約90	5.0以下
0.4-4FF(H)	0.4	1.5	20	24							
0.4-10FF(H)	0.4	1.5	48	58							

(備考) 0.4-□FF(H)の□内は対数を示す。

### ■断面略図



### ■絶縁体色別

第1対	第2対	第3対	第4対	第5対	第6対	第7対	第8対	第9対	第10対
青ー白	黄ー白	緑ー白	赤ー白	紫ー白	青ー茶	黄ー茶	緑ー茶	赤ー茶	紫ー茶

(備考) 所要対数に応じて第1対から第10対までを使用します。

(注) ミシン目  
 FF(H)□Pは図のa.bの全ての位置にミシン目を入れます。